

第1学年〇組 英語科学習指導案

日時 平成31年1月31日(木) 5限
場所 1年〇組教室
指導者 〇〇 〇〇

1. 単元名

Program9 “A New Year’s Visit” (開隆堂 Sunshine English Course 1)

2. 単元について

〈単元観〉

本単元では、「年始のあいさつ」という題材を通して、生徒が日本文化を客観的にとらえ考えることをねらっている。そのため、日本人を妻とするジムさん一家が妻の愛子さんの両親の家へ年始のあいさつに訪れ、お雑煮を食べるといった日本の文化を扱った設定となっている。急速に加速している国際化社会を生きる中学生にとって、異文化について学ぶ機会は増えているが、自国の文化を説明するとなると案外難しい。日本人である私たちが日本文化をよく知り、国際化社会を生きる一人の日本人として日本文化を発信するきっかけとなるような単元でもある。教科書にある絵やそこには出てこない絵(写真)も用意し、それらを説明することを通して、学習した内容をできるだけ正しく伝えることができる力を養いたい。言語材料としては、「現在進行形」、「疑問詞(What)+現在進行形」を学習する。電話で家族が今していることを伝える状況を通して英語の現在進行形を用いた表現をよりリアルに経験できる題材である。

〈生徒観〉

本学級の生徒(男子14名、女子13名)は、授業に対して意欲的に取り組み、英語を話す活動において積極的に話そうとする生徒が多い。自分から話しかけることが苦手な生徒もいるが、ペアでの関わりや周りの生徒たちからの働きかけにより、言語活動に取り組むことができている。12月に実施した英語学習についてのアンケートでも、英語の学習が好きだと答えた生徒が88%であった。2学期から自己表現力向上のために、ヒントをもとにして取り込んだ教科書本文を再生するリテリング活動に取り組んでいる。しかし、自分の言いたいことが英語でうまく表現できない生徒も見受けられ、全体のシェア場面では、自分の話した英語に自信が持てず、進んで友達に伝えようとする生徒が少ない。

〈指導観〉

指導にあたっては、生徒の「自分の考えを伝えたい」という思いを大切にするためにも、教師側が生徒の英語に正確さを求めすぎないようにすることで生徒の発話に対する心理的負担を減らしたい。

また、本単元の中核的な目標を、「学習した内容を聞き手に分かりやすく伝える」とこととし、「話すこと」の能力を育成していきたい。毎時間の帯活動として1分間チャットをし、英語を話す雰囲気作りをするとともに教師も積極的に英語を使用することで生徒も自然と英語で話そうとするような雰囲気を作っていきたい。本文の理解では、細かな文の意味よりも大まかなストーリーをつかませることを心がけたい。そして、音読練習を繰り返し行いながら、理解(インプット)した内容を自分の中に取り込み(インテイク)、そして表現(アウトプット)活動へとつなげていきたい。表現活動では、ペアや代表者の発話をモデルとしてそこからの学びにも期待したい。また、生徒の書いたライティングの誤りを添削し、徐々に英語の正確さや発話語数の向上にもつなげていきたい。

3. 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話す。

【外国語表現の能力】

- ・現在進行形を用いて、英文を話したり書いたりする。
- ・本文の絵を参考にし、現在進行形を中心として学習した内容を聞き手に分かりやすく伝える。

【外国語理解の能力】

- ・日本に滞在中のジムさん一家のお正月の対話を正確に読み取る。

【言語や文化についての知識・理解】

- ・現在進行形を用いた文の構造を理解する。

4. 評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話している。	①現在進行形を用いて、英文を話したり書いたりすることができる。 ②本文の絵を参考にし、現在進行形を中心として学習した内容を聞き手に分かりやすく伝えることができる。	①日本に滞在中のジムさん一家のお正月の対話を正確に読み取ることができる。	①現在進行形を用いた文の構造を理解している。

5. 指導と評価の計画 全9時間 (本時9/9)

時間	○ねらい・学習活動	評価規準	評価方法
1	○現在進行形の肯定文の文の構造を理解する。 ・新出文法の構造を理解する。 ・ワークシートで練習問題や英作文をする。	知識① 表現①	ワークシート ペーパーテスト (後日)
2	○現在進行形の疑問文と答え方の文の構造を理解する。 ・新出文法の構造を理解する。 ・ワークシートで練習問題や英作文をする。	知識① 表現①	ワークシート ペーパーテスト (後日)
3	○What で始まる現在進行形の文構造を理解する。 ・新出文法の構造を理解する。 ・単語カードを並び替え、日本語に合った現在進行形の文を完成する。	知識① 表現①	ワークシート ペーパーテスト (後日)
4	○日本に滞在中のジムさん一家の元日の対話を正確に読み取り音読する。 ・セクション1の対話を読み取る。 ・ジムさん一家の対話を音読する。	理解①	ワークシート

5	<p>○間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話す。</p> <p>○本文の絵を参考にし、日本に滞在中のジムさん一家の元日の対話を聞き手に分かりやすく伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読活動をする。 ・本文の内容を聞き手に分かりやすく伝え合う。 	<p>意欲①</p> <p>表現②</p>	<p>活動の観察</p> <p>(後日面接テスト)</p>
6	<p>○電話での祖母との対話を正確に読み取り音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクション2の対話を読み取る。 ・電話での祖母との対話を音読する。 	<p>理解①</p>	<p>ワークシート</p>
7	<p>○間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話す。</p> <p>○本文の絵を参考にし、電話での祖母との対話を聞き手に分かりやすく伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読活動をする。 ・本文の内容を聞き手に分かりやすく伝え合う。 	<p>意欲①</p> <p>表現②</p>	<p>活動の観察</p> <p>(後日面接テスト)</p>
8	<p>○電話で用件を聞いたサムが、家族へその内容を伝えている対話を読み取り音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セクション3の対話を読み取る。 ・電話で用件を聞いたサムが、家族へその内容を伝えている対話を音読する。 	<p>理解①</p>	<p>ワークシート</p>
9 本時	<p>○間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話す。</p> <p>○本文の絵を参考にし、電話で用件を聞いたサムが、家族へその内容を伝えている対話を聞き手に分かりやすく伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読活動をする。 ・本文の内容を聞き手に分かりやすく伝え合う。 	<p>意欲①</p> <p>表現②</p>	<p>活動の観察</p> <p>(後日面接テスト)</p>
後日	<p>○学習した内容を聞き手に分かりやすく伝える。</p>	<p>意欲①</p> <p>表現②</p>	<p>面接テスト</p>

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話す。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ②本文の絵を参考にし、電話で用件を聞いたサムが、家族へその内容を伝えている対話を聞き手に分かりやすく伝える。(外国語表現の能力)

(2) 本時の評価規準

目標① (コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

十分満足できる(A)と判断される状況	おおむね満足できる(B)	努力を要する生徒への手立て
ペア活動において、間違いを恐れずに、積極的に英語を話そうとしている。	ペア活動において、間違いを恐れずに英語を話そうとしている。	机間指導をし、活動内容や発音などの支援をしながら活動への参加を促す。

目標② (外国語表現の能力)

十分満足できる(A)と判断される状況	おおむね満足できる(B)	努力を要する生徒への手立て
自分の選んだキーワードと絵を参考にし、オリジナルの文を加えながら本文の内容を正確に相手に伝えている。	自分の選んだキーワードと絵を参考にし、本文の内容をある程度正確に相手に伝えている。	机間指導をし、キーワードから具体的なヒントを与えて文章づくりを促す。

(3) 学習過程

学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	教師の支援(・)と評価(◆)
1. 帯活動 ①スモールチャット	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで1分間スモールチャットに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに積極的に英語を使うことを促す。
2. 本時の目標を確認する 電話で用件を聞いたサムが、家族へその内容を伝えている対話を、本文の絵を参考にしながら聞き手に分かりやすく伝えることができる。		
3. 本文の内容を確認する ①本文の会話の理解(Q&A) ②本文の音読	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の内容に関する質問に答えることを通して本文の内容を確認する。 ・本文の日本語訳付きのワークシートでの音読練習を通して、細かい部分の意味を理解するとともに、正しい発音ができるように音読練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Yes/Noで答えられる質問から、疑問詞を用いた質問へと段階を踏む。 ・読みづらそうな部分は繰り返しリピートさせる。 ・ペアで読みの確認をさせる。
4. 本文の内容を英語で表現する ①リテリングの準備	<ul style="list-style-type: none"> ・絵付きのワークシートに自分に必要なキーワードを記入し、リテリングの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを見るだけではリテリングできない

<p>②リテリングの発表</p>	<p>①ペアで交互にリテリングをする。 ②2人とも終わったら、代表者が発表する。 ③アドバイスや友達の発表をもとに、再度練習する。 ④2回目のチャレンジをする。 ⑤リテリングした内容をワークシートに記入する。</p>	<p>生徒については、Q&Aの答えの部分を順番に言っていくとよいと告げる。</p> <p>◆間違いを恐れずに、自分の考えを積極的に英語で話す。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (活動の観察)</p> <p>◆本文の絵を参考にし、電話で用件を聞いたサムが、家族へその内容を伝えている対話を聞き手に分かりやすく伝える。 【外国語表現の能力】 (活動の観察)</p> <p>・授業後、生徒の書いたライティングの誤りを添削し、生徒のフィードバックに役立てられるようにする。</p>
<p>5. 本時の学習の振り返り をする</p>	<p>自己学習カードに本時の振り返りをする。</p>	<p>・生徒の頑張りを具体的に褒めるようにする。 ・次時の予告をする。</p>